

行事報告

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—CIS 活動報告(インドネシア)

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅 哲男
接合科学研究所 客員教授

本年度 1 ケ国目の CIS(カップリングインターンシップ)を、8 月 14 日~27 日の期間にインドネシア(ジャカルタ)で開催しました。大阪大学外国語学部 2 名、工学研究科 2 名、インドネシア大人文学部 2 名、工学部 2 名の計 8 名の学生が参加しました。現地では 2 日間の事前研修を行い、企業の経営理念やコミュニケーションの講義(講師：言語文化研究科の横江特任教授、原准教授)、溶接基礎知識の講義(講師：接合研の田中教授)などを受講し、18 日から 5 日間の企業実習に臨みました。実習先のコマツインドネシア社(建機会社、小松製作所の子会社)で、会社説明(方針、組織、業務内容、安全管理)を受けると共に、現場見学(接合プラント、油圧シリンダープラント)や、CIS の課題に関する現場

指導者へのインタビューなどを行いました。学生は、課題として「生産効率の向上」や「現場における安全管理」などを設定し、その問題解決策について全力で取り組みました。最終日の 26 日には、コマツインドネシア社で、学生は課題の検討結果についてプレゼンテーションを行いました。最終報告会は、コマツインドネシアの Haryanto 社長、インドネシア大学の Junaidi 国際部長、大阪大学の菅客員教授ら計 35 名の参加があり、盛況裏に終了しました。コマツインドネシアからは、対策は実践に大変役立つ提案であるとお褒めがありました。文理融合と日本学生と現地学生の融合でのインターンシップの試みは簡単ではありませんが、その挑戦の一環として、今回の活動は価値あるものでした。

